

新宿区 NPO 活動団体登録票

申請年月日 平成 16 年 8 月 18 日 (最終更新日: 令和 5 年 4 月 27 日) No. 14

法人名 代表者名 設立年月	特定非営利活動法人 国境なき子どもたち 寺田 朗子 (テラダ サエコ) 平成 12 年 11 月 10 日
主たる事務所	〒161-0033 新宿区下落合 4-3-22 電話: 03(6279)1126 FAX: 03(6279) 1127 E-mail: kodomo@knk.or.jp URL: http://www.knk.or.jp
目的 (定款の目的)	本会は、教育的かつ人道的な活動を行う国際的な団体であり、世界の子どもたちがお互いに友情と理解の促進をはかり、また困難な状況にある子どもたちの生活環境の改善を目指す活動を促進することを目的とする。
現在主に行っている活動状況	I. 世界と日本で困難な状況にある青少年対象の支援活動ならびに調査 (カンボジア、フィリピン、ヨルダンのシリア難民、バングラデシュ、パキスタン、パレスチナ、日本(岩手県)) II. 日本の青少年に向けた国際理解促進のための教育的活動 (友情のレポーター、友情の 5 円玉キャンペーン、写真展、オンラインイベントなどの開催)
新宿区民を対象とした活動状況 (予定も含む)	区民が参加できる国際理解・青少年支援促進を目的としたオンライン/対面イベントを実施し、ウェブサイトやメールマガジン、SNSなどで随時告知している。 2022 年 4 月には新宿区のアイデムフォトギャラリー「シリウス」にて、写真展「時を重ねてー東日本大震災から現在ー」とトークイベント、9 月にも同ギャラリーにて、団体設立 25 周年記念写真展「ともに成長するためにー世界の子どもたちー」、関連した中高生向けワークショップ「五つの質問 世界の子どもたち、同じと違い」を主催した。11 月には新宿区の JICA 地球ひろばにて、共催イベント「子どもの権利を大切するために、私たちにできること～国を超えて共に学ぶ～」を会場とオンラインにて行った。 ボランティアは、事務局におけるごく少人数での発送作業や在宅翻訳、野外イベントでのボランティアを受け入れ、ウェブサイトやメールマガジンでつど募集している。区内をはじめとする小中高大学生のオンライン訪問学習を取り入れ、啓発活動に努めている。
活動地域	東京都新宿区下落合(東京事務局)、ほか
活動頻度	東京事務局: 平日午前 10 時から午後 6 時内で定期または不定期。イベント、在宅での翻訳作業など。
事業費	令和 4 年度 総事業費 (310,153,152 円) ① 特定非営利活動費 (310,153,152 円) ② ②/① = (100) %

新宿区 NPO 活動団体登録票

事業年度及びその 他の事業の有無	1月1日～12月31日まで その他事業 有 ・ 無 ()
所轄庁への届出 書提出状況	令和4年度 東京都に届出
活 動 分 野	1, 2, 11, 13, 19
運 営 状 況	<p>① 会費 評議員会費 (=NPO 法上の会費) : 年間 1,000 円 国境子どもたち支援会費(1年間) : 一般 12,000 円、学生 5,000 円</p> <p>② 会員の内容及び会員数 (令和3年12月31日現在) 正会員(評議員)70人 スタッフの構成(令和3年12月31日現在) 有給専従 : 13人 (男3人/女10人) 有給非専従 : 0人 (男0人/女0人)</p> <p>③ 意思決定の方法 理事会/マネージングコミッティ/総会/事務局</p>
これからの課題	<p>2022年、国境なき子どもたち(KnK)は設立四半世紀を過ぎたが、ビジョンである「国境を越えてすべての子どもに教育と友情を」を目標に、世界約7の国と地域で活動を続けている。教育の機会を願う子どもや、災害緊急支援を待ち望む貧困世帯などに長期に安定した支援を行うため、区民の皆さまや地元企業・団体のお力をお借りしたく、幅広いご参加やご寄付ををお願いしたい。</p> <p>私どもも積極的に「支援者と子どもをつなぐ架け橋」であることを忘れず、「子どもたちの声や成長の様子を届け」、「支援金を有効活用し説明責任を果たすよう努め、世界の子ども達の現状について情報発信」を行っていく。</p>

新宿区 NPO 活動団体登録票

NPO から区民の方への PR

1997年に日本で生まれた教育支援 NPO「国境なき子どもたち(KnK)」は徐々に対面での活動を再開しており、新宿区に在住在勤の皆さまのご支援やご参加を歓迎いたします。

中高校生は、講演や事務局への（オンライン）訪問、「友情の5円玉キャンペーン」での募金活動を通じて世界の子どもについて学べます。2023年からは、日本の子どもが実際に渡航し、海外の子どもに取材する「友情のレポーター」募集を再開いたしますのでぜひご応募ください。

大学生や社会人、お仕事の第一線を退かれた方々はインターンやボランティアとして、デザインなどのスキルをお持ちの方はプロボノとしてお力を発揮いただけます。

手軽なご参加方法としては、ご家庭やオフィスで眠っている本などを途上国の子どもたちの教育支援につなげる「キモチと。」というご寄付プログラムが、皆さまのご好評を得ております。

各種（オンライン）イベントへのご参加、ウェブキャンペーンへのご賛同、関連書籍『わたしはドミニク』やDVDのご購入も大きな力になります。詳しくはウェブサイト knk.or.jp や Facebook、Twitter、Instagram をご覧ください。資料やニュースレター（郵送、メール添付 PDF）、メールマガジンをお届けいたしますので、お気軽にお問い合わせください。

未来へつなぐお気持ちや社会貢献として、相続された財産からのご寄付、遺贈をお考えの方向けのパンフレットもご用意しております。

誰でも、どのような立場にある人でも、できることがある。それを実感したい方は、ぜひ国境なき子どもたちの活動にご参加ください。